

第 6 5 号 議 案

令 和 6 年 度

亀 岡 市 水 道 事 業 会 計 補 正 予 算 (第 4 号)

令和6年度亀岡市水道事業会計補正予算（第4号）

（総 則）

第1条 令和6年度亀岡市水道事業会計の補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第2条 令和6年度亀岡市水道事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
	収	入	
	千円	千円	千円
第1款 水道事業収益	1,833,300	△ 23,332	1,809,968
第1項 営業収益	1,379,349	276	1,379,625
第2項 営業外収益	451,850	△ 23,608	428,242
	支	出	
	千円	千円	千円
第1款 水道事業費用	1,724,561	△ 45,872	1,678,689
第1項 営業費用	1,576,906	△ 45,872	1,531,034

（資本的収入及び支出）

第3条 予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 824,299千円は消費税及び地方消費税資本的収支調整額 57,676千円、減債積立金 202,446千円及び損益勘定留保資金 564,177千円で補てん及び措置するものとする。）。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
	収	入	
	千円	千円	千円
第1款 資本的収入	711,300	△ 152,352	558,948
第1項 負担金	202,009	△ 85,752	116,257
第2項 企業債	381,700	△ 83,000	298,700
第3項 出資金	117,265	16,400	133,665
	支	出	
	千円	千円	千円
第1款 資本的支出	1,596,207	△ 212,960	1,383,247
第1項 建設改良費	919,788	△ 213,095	706,693
第3項 積立金	100,012	135	100,147

(企 業 債)

第4条 予算第5条に定めた起債の限度額を、次のとおり改める。

起債の目的	補 正 前				補 正 後			
	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法
水道事業	381,700千円 (ただし、発行 価格が額面金額 を下まわるとき は、その発行価 格差減額をうめ るため必要な金 額をこれに加算 した額)	(1)普通貸借 (2)証券発行 (3)本債にかわ る短期債を 起こすこと ができる。	5 % 以内 (ただし、利 率見直し方式 で借り入れる 政府資金等につ いて、利率 見直しを行っ た後において は、当該見直 し後の利率)	政府資金につ いては、その融 資条件により、 銀行その他の場 合にはその債権 者と協定するも のによる。ただ し、市財政の都 合により据置期 間及び償還期限 を短縮し、又は 繰上償還若しく は低利に借換え することができる。	298,700千円 (ただし、発行 価格が額面金額 を下まわるとき は、その発行価 格差減額をうめ るため必要な金 額をこれに加算 した額)	(1)普通貸借 (2)証券発行 (3)本債にかわ る短期債を 起こすこと ができる。	(ただし、利 率見直し方式 で借り入れる 政府資金等につ いて、利率 見直しを行っ た後において は、当該見直 し後の利率)	政府資金につ いては、その融 資条件により、 銀行その他の場 合にはその債権 者と協定するも のによる。ただ し、市財政の都 合により据置期 間及び償還期限 を短縮し、又は 繰上償還若しく は低利に借換え することができる。

(他会計からの補助金)

第5条 予算第9条に定めた補助を受ける金額「66,119千円」を「66,767千円」に改める。

令和7年3月5日提出

亀岡市長 桂 川 孝 裕

令和6年度亀岡市水道事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 水道事業収益			1,833,300 ^{千円}	△ 23,332 ^{千円}	1,809,968 ^{千円}	
	1 営業収益		1,379,349	276	1,379,625	
		2 その他営業収益	81,827	276	82,103	
	2 営業外収益		451,850	△ 23,608	428,242	
		1 受取利息及び配当金	112	135	247	
		2 他会計補助金	64,229	648	64,877	
		4 雑収益	65,827	△ 24,391	41,436	

支 出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 水道事業費用			1,724,561 ^{千円}	△ 45,872 ^{千円}	1,678,689 ^{千円}	
	1 営業費用		1,576,906	△ 45,872	1,531,034	
		5 減価償却費	812,430	△ 14,816	797,614	
		6 資産減耗費	67,762	△ 31,056	36,706	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資 本 的 収 入			711,300 ^{千円}	△ 152,352 ^{千円}	558,948 ^{千円}	
	1 負 担 金		202,009	△ 85,752	116,257	
		1 工 事 負 担 金	202,009	△ 85,752	116,257	
	2 企 業 債		381,700	△ 83,000	298,700	
		1 企 業 債	381,700	△ 83,000	298,700	
	3 出 資 金		117,265	16,400	133,665	
		1 一般会計出資金	117,265	16,400	133,665	

支 出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資 本 的 支 出			1,596,207 ^{千円}	△ 212,960 ^{千円}	1,383,247 ^{千円}	
	1 建 設 改 良 費		919,788	△ 213,095	706,693	
		2 施 設 改 良 費	855,327	△ 213,095	642,232	
	3 積 立 金		100,012	135	100,147	
		1 積 立 金	100,012	135	100,147	

令和6年度亀岡市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月31日まで)

千円

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	85,988
減価償却費	797,614
固定資産除却費	9,706
引当金の増減額 (△は減少)	△ 69
長期前受金戻入額	△ 321,682
受取利息及び配当金	△ 247
支払利息	93,607
未収金の増減額 (△は増加)	65,454
未払金の増減額 (△は減少)	△ 15,750
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 12
預り金の増減額 (△は減少)	△ 235
小計	714,374
利息及び配当金の受取額	247
利息の支払額	△ 93,607
業務活動によるキャッシュ・フロー	621,014

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 1,003,261
負担金等による収入	113,075
基金の積立てによる支出	△ 100,147

リース債務支払額	<u>△ 1,645</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 991,978
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	448,900
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 576,407
他会計からの出資による収入	<u>217,865</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	90,358
資金増加額（又は減少額）	△ 280,606
資金期首残高	<u>2,577,471</u>
資金期末残高	2,296,865

令和6年度亀岡市水道事業予定貸借対照表

(令和 7 年 3 月 31 日)

資 産 の 部

	千円	千円	千円	千円
1 固 定 資 産				
(1) 有 形 固 定 資 産				
イ 土 地		1,337,533		
ロ 建 物	1,421,035			
減価償却累計額	<u>△ 753,604</u>	667,431		
ハ 構 築 物	35,096,850			
減価償却累計額	<u>△ 16,560,040</u>	18,536,810		
ニ 機 械 及 び 装 置	4,325,213			
減価償却累計額	<u>△ 2,896,597</u>	1,428,616		
ホ 車 両 運 搬 具	28,360			
減価償却累計額	<u>△ 27,004</u>	1,356		
ヘ 工具、器具及び備品	235,729			
減価償却累計額	<u>△ 204,114</u>	31,615		
ト リース資産	8,081			
減価償却累計額	<u>△ 7,273</u>	808		
チ 建 設 仮 勘 定		<u>1,030,342</u>		
有形固定資産合計			23,034,511	
(2) 無 形 固 定 資 産				

イ 電 話 加 入 権	50		
無形固定資産合計		50	
(3) 投資その他資産			
イ 出 資 金	1,500		
ロ 基 金	300,155		
投資その他資産合計		301,655	
固 定 資 産 合 計			23,336,216
2 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金		2,296,865	
(2) 未 収 金	143,501		
貸 倒 引 当 金	△ 9,279	134,222	
(3) 貯 蔵 品		7,275	
流 動 資 産 合 計			2,438,362
資 産 合 計			25,774,578

負 債 の 部

	千円	千円	千円	千円
3 固 定 負 債				
(1) 企 業 債				
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,594,894			
企 業 債 合 計		5,594,894		
(2) 引 当 金		179,814		
(3) そ の 他 固 定 負 債		186,158		

	千円	千円	千円	千円
固 定 負 債 合 計				5,960,866
4 流 動 負 債				
(1) 一 時 借 入 金			0	
(2) 企 業 債				
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		<u>506,188</u>		
企 業 債 合 計			506,188	
(3) 未 払 金			197,627	
(4) 引 当 金			17,422	
(5) 預 り 保 証 金			900	
(6) 預 り 金			<u>7,647</u>	
流 動 負 債 合 計				729,784
5 繰 延 収 益				
(1) 長 期 前 受 金			15,594,088	
収 益 化 累 計 額			<u>△ 7,233,074</u>	
繰 延 収 益 合 計				<u>8,361,014</u>
負 債 合 計				15,051,664

資 本 の 部

	千円	千円	千円	千円
6 資 本 金				
(1) 資 本 金			<u>9,826,385</u>	
資 本 金 合 計				9,826,385

7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金		608,095	
(2) 利 益 剰 余 金			
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>288,434</u>		
利 益 剰 余 金 合 計		<u>288,434</u>	
剰 余 金 合 計			<u>896,529</u>
資 本 合 計			<u>10,722,914</u>
負 債 資 本 合 計			<u>25,774,578</u>

注 記

I. 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く。）

- ・減価償却の方法 定額法による。

- ・主な耐用年数

建物	15～50 年
----	---------

構築物	40～60 年
-----	---------

機械及び装置	15～20 年
--------	---------

車両運搬具	4～6 年
-------	-------

工具、器具及び備品	5～15 年
-----------	--------

(2) リース資産

- ・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

2 たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・貯蔵品 先入先出法による原価法

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権・貸倒懸念債権等それぞれの貸倒実績率により、回収不能見込額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は574,881千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 退職給付引当金の取崩し

令和6年度において、退職手当として3,216千円を支給するため、退職給付引当金3,216千円を取り崩す。

(2) 賞与引当金の取崩し

令和6年度において、期末手当及び勤勉手当として43,781千円を支給するため、賞与引当金13,783千円を取り崩す。

(3) 法定福利費引当金の取崩し

令和6年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として8,361千円を支出するため、法定福利費引当金2,729千円を取り崩す。

(4) 貸倒引当金の取崩し

令和6年度において、債権2,350千円を不納欠損処理するため、貸倒引当金2,350千円を取り崩す。

III. リース契約により使用する固定資産

1 リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

IV. その他の注記

1 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の方法により取り崩すこととする。

科 目 別 内 訳 書

収 益 的 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	説 明
1 水道事業収益				1,833,300 ^{千円}	△ 23,332 ^{千円}	1,809,968 ^{千円}	
	1 営 業 収 益			1,379,349	276	1,379,625	
		2 そ の 他 営 業 収 益		81,827	276	82,103	
			1 他 会 計 負 担 金	30,117	276	30,393	一般会計負担金増
	2 営 業 外 収 益			451,850	△ 23,608	428,242	
		1 受 取 利 息 及 び 配 当 金		112	135	247	
			2 基 金 利 息	12	135	147	基金利息増
		2 他 会 計 補 助 金		64,229	648	64,877	
			1 他 会 計 補 助 金	64,229	648	64,877	一般会計補助金増
		4 雑 収 益		65,827	△ 24,391	41,436	
			1 そ の 他 雑 収 益	65,827	△ 24,391	41,436	補償金減

支 出

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	説 明
1 水道事業費用				1,724,561 ^{千円}	△ 45,872 ^{千円}	1,678,689 ^{千円}	
	1 営 業 費 用			1,576,906	△ 45,872	1,531,034	
		5 減 価 償 却 費		812,430	△ 14,816	797,614	
			1 有 形 固 定 資 産 減 価 償 却 費	812,430	△ 14,816	797,614	有形固定資産減価償却費減
		6 資 産 減 耗 費		67,762	△ 31,056	36,706	
			1 固 定 資 産 除 却 費	67,762	△ 31,056	36,706	固定資産除却費減

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	説 明
1 資本的収入				711,300 ^{千円}	△ 152,352 ^{千円}	558,948 ^{千円}	
	1 負 担 金			202,009	△ 85,752	116,257	
		1 工 事 負 担 金		202,009	△ 85,752	116,257	
			1 工 事 負 担 金	202,009	△ 85,752	116,257	工事負担金減
	2 企 業 債			381,700	△ 83,000	298,700	
		1 企 業 債		381,700	△ 83,000	298,700	
			1 企 業 債	381,700	△ 83,000	298,700	水道事業債減
	3 出 資 金			117,265	16,400	133,665	
		1 一 般 会 計 金 出 資		117,265	16,400	133,665	
			1 一 般 会 計 金 出 資	117,265	16,400	133,665	一般会計出資金増

支 出

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	説 明
1 資 本 的 支 出				1,596,207 ^{千円}	△ 212,960 ^{千円}	1,383,247 ^{千円}	
	1 建 設 改 良 費			919,788	△ 213,095	706,693	
		2 施 設 改 良 費		855,327	△ 213,095	642,232	
			1 委 託 料	32,010	△ 7,568	24,442	施設各種設備改良工事設計業務委託料等精算見込みによる減
			2 工 事 請 負 費	823,317	△ 205,527	617,790	配水管布設替工事費等精算見込みによる減
	3 積 立 金			100,012	135	100,147	
		1 積 立 金		100,012	135	100,147	
			1 基 金 積 立 金	100,012	135	100,147	基金積立金増